

11th TOUR OF JAPAN

2007.5/20 (Sun)~27 (Sun)



報告書

START/FINISH
TOUR OF JAPAN



競輪補助事業

<http://keirin.go.jp>

<http://ringring.keirin.go.jp>



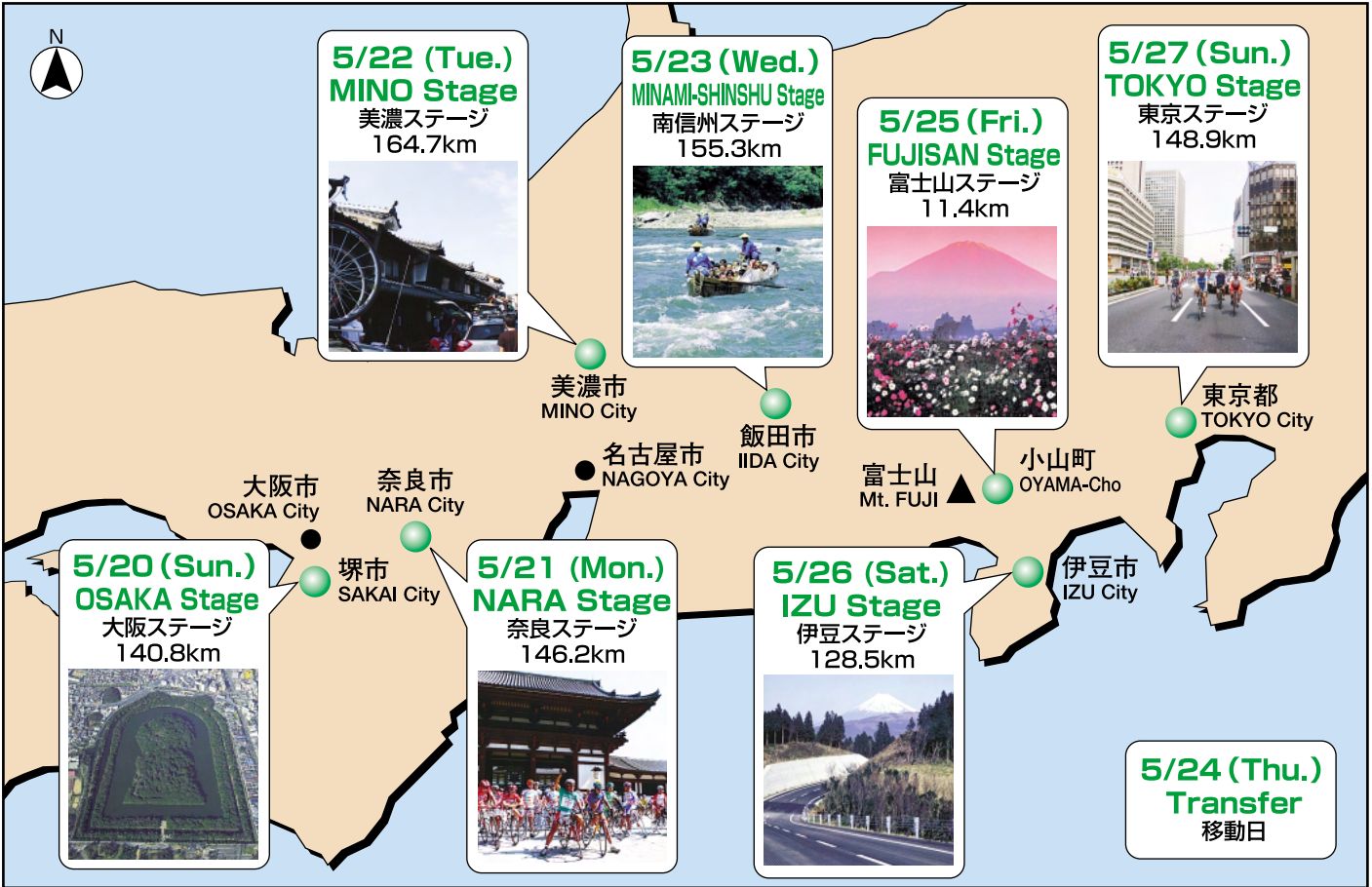
目次/CONTENTS	
■目次・大会日程・実施概要・テレビ放送・大会役員・開催地イラスト	1
■今中大会の目	2
■チームリスト (海外)	3
■チームリスト (国内)	4
■第1ステージ [大阪] 競技結果	5
■第2ステージ [奈良] 競技結果	7
■第3ステージ [美濃] 競技結果	9
■第4ステージ [南信州] 競技結果	11
■第5ステージ [富士山] 競技結果	13
■第6ステージ [伊豆] 競技結果	15
■第7ステージ [東京] 競技結果	17
■個人総合時間全成績	19
■個人総合ポイント・個人総合山岳賞・団体総合時間賞	20
■広報ツール	21
■パブリシティ (テレビ)	22
■パブリシティ (新聞・雑誌)	23
■大会セレモニー	29
■スポンサーメ리트	30

大会日程/Race Schedules			
5月20日 (日) May 20 (Sun.)	大阪ステージ OSAKA Stage	12:00スタート Start at 12:00	140.8km
5月21日 (月) May 21 (Mon.)	奈良ステージ NARA Stage	9:00スタート Start at 9:00	146.2km
5月22日 (火) May 22 (Tue.)	美濃ステージ MINO Stage	9:15スタート Start at 9:15	164.7km
5月23日 (水) May 23 (Wed.)	南信州ステージ MINAMI-SHINSHU Stage	8:45スタート Start at 8:45	155.3km
5月24日 (木) May 24 (Thu.)	移動日 Transfer		
5月25日 (金) May 25 (Fri.)	富士山ステージ FUJISAN Stage	10:00スタート Start at 10:00	11.4km
5月26日 (土) May 26 (Sat.)	伊豆ステージ IZU Stage	9:00スタート Start at 9:00	128.5km
5月27日 (日) May 27 (Sun.)	東京ステージ TOKYO Stage	11:00スタート Start at 11:00	148.9km
総距離 Total Distances			895.8km

実施概要/Outline Of The Race	
名 称	第11回ツアー・オブ・ジャパン
主 催	自転車月間推進協議会/朝日新聞社/日刊スポーツ新聞社/テレビ朝日
主 管	TOUR OF JAPAN組織委員会 (事務局: 財団法人日本自転車普及協会)
競技主管	財団法人 日本自転車競技連盟
後 援	内閣府/総務省/文部科学省/経済産業省/国土交通省/環境省/東京都 日本自転車振興会
協 力	[大阪ステージ] 堺市 [奈良ステージ] 奈良県/奈良市/山添村/(独)水資源機構木津川 ダム総合管理所/東大寺 [美濃ステージ] 岐阜県/美濃市 [南信州ステージ] 飯田市/飯田観光協会 [富士山ステージ] 小山町 (静岡県駿東郡) [伊豆ステージ] 静岡県/伊豆市/伊豆の国市/函南町 財日本サイクルスポーツセンター [東京ステージ] 財東京港埠頭公社

テレビ放送/Television	
■テレビ朝日	6/2(土)深夜3:10~4:05 視聴率0.9%
■長野朝日放送	6/3(日)14:00~14:55 視聴率7.8%
※視聴率未調査週につき、同時時間帯の参考視聴率になります。	
■朝日放送	6/6(水)深夜1:59~2:54 視聴率2.1%
■名古屋テレビ	6/9(土)深夜1:00~1:55 視聴率3.2%
■静岡朝日テレビ	6/10(日)深夜1:10~2:05 視聴率2.2%
■NHK衛星第1	6/19(火)深夜1:10~2:00 2:10~3:00

大会役員/Officials	
【名誉会長】	秋山耿太郎
【会 長】	小川 邦夫
【副 会 長】	島野 喜三 清田 治史 阿部毅一郎
【監 事】	小林 昭
【委 員 長】	高橋 惇
【副委員長】	友高 哲朗 大野 穰 岡田 行雄 土屋 一彦
【委 員】	新井 茂 池田 弘 植田 好規 浦田 信行
	奥田 悦司 佐藤 貞男 佐藤 成美 佐藤 米治
	関 一 高木 良信 玉城 一夫 田野倉正文
	中村 義行 野口 實 萩原 重一 花畑 和宏
	樋口 修 森本 嘉彦 諸星 利雄



今中大介の目

積極果敢な走りこそ
日本勢の未来につながる

大会オフィシャルコメンテーターの今中大介が、第11回ツアー・オブ・ジャパンを振り返る。

最高のフィナーレに感動！

今年の大会はまさに海外遠征で力を蓄えてきたNIPPO・梅丹チームが存在感をアピールした。初日の大阪ステージで宮澤崇史と新城幸也がワンツー・フィニッシュし、最高の形で緒戦を終えて弾みをつけた。ところがその後は、連日のように積極果敢な動きを展開したが、結果だけを見れば歯車がかみ合わない動きだったことは確かだ。

それでもこの日本チームが大会全体を通じてリーダーシップを発揮したことは、将来にとって光明を見出す思いがする。総合優勝したフランチェスコ・マシャレリを擁するイタリアチームも、「日本選手は連日のようにアタックをしかけてきて、イタリアで行われるこのレベルのレースよりもはるかに積極果敢でうんざりするほどだった。その中でリーダー・ジャージを守ることはとても苦労することだった」と語ったほどだ。

NIPPO・梅丹チームの執念ともいえるべきどん欲さは、

最終ステージで新城幸也の優勝という最高の形でたくさんのファンの記憶に残った。これは本当に感動するシーンだった。まるで誰かがドラマのシナリオを書いたかのような結果に、テレビ解説をしながら思わずワクワクしてしまったほどだ。

日本勢の優勝は04年の福島晋一を最初で最後にして遠ざかっている。しかし彼らの積極性は必ず来年につながるはずだ。これからも日本を代表するステージレースとしてファンを感動させる大会として成長してほしい。

今中大介 (Daisuke IMANAKA)

1996年に日本人として初めてのツール・ド・フランスに出場した元プロ選手。同年に開催された第1回ツアー・オブ・ジャパンでは、最も過酷な修善寺でステージ優勝。97年に引退し、海外の自転車ブランドを扱うインターマックスを創業。解説者としても活躍している。



チームリスト (海外)

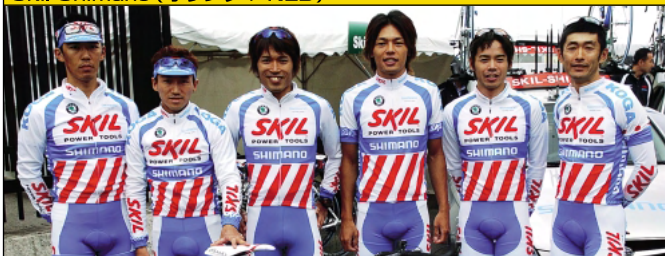
アクアエサポーネ・カフェモカンボ ACQUA E SAPONE-CAFFE MOKAMBO (イタリア / ITA)



No.	NAME / 選手名
11	DI PAOLO Francesco / フランチェスコ・ディパオロ
12	DONATI Alessandro / アレッサンドロ・ドナーティ
13	MASCIARELLI Francesco / フランチェスコ・マシヤレツリ
14	MASCIARELLI Andrea / アンドレア・マシヤレツリ
15	PASSERON Aurelien / オレリアン・パスロン
16	ROSSI Andrea / アンドレア・ロッシ

Team Manager: DI LORENZO Lorenzo / ロレンツォ・ディ・ロレンツォ

スキル・シマノ Skil-Shimano (オランダ / NED)



No.	NAME / 選手名
21	KANO Tomoya / 狩野 智也
22	ABE Yoshiyuki / 阿部 良之
23	NODERA Hidenori / 野寺 秀徳
24	OUCHI Kaoru / 大内 薫
25	YAMAMOTO Masamichi / 山本 雅道
26	TSUJI Takamitsu / 辻 貴光

Team Manager: BANDO Akira / 板東 晃

サウスオーストラリアドットコム・AIS SOUTH AUSTRALIA .COM-AIS (オーストラリア / AUS)



No.	NAME / 選手名
31	DEMPSTER Zakkari / ザッカリ・デンプスター
32	FORD William / ウィリアム・フォード
33	FINNING Sean / ショーン・フィニング
34	MEYER Cameron / キャメロン・メイヤー
35	OLMAN Miles / マイルズ・オルマン

Team Manager: McGEE Rodney / ロドニー・マギー

ホンコンプロサイクリング HONG KONG PRO CYCLING (ホンコンチャイナ / HKG)



No.	NAME / 選手名
41	WONG Kam Po / ワン・カンポー
42	TANG Wang Yip / タン・ワイイップ
43	KWOK Ho Ting / クオック・ホーティン
44	WU Kin San / ウー・キンサン
45	XU Gang / シュウ・ガン
46	CHAN Chun Hing / チャン・チュンヒン

Team Manager: SHEN Jin Kang / シェン・ジンカン

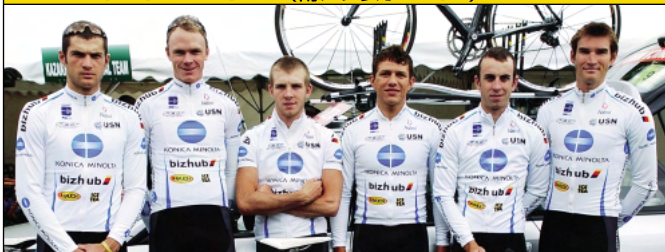
ディスカバリーチャンネル・マルコポーロチーム DISCOVERY CHANNEL MARCO POLO TEAM (中国 / CHN)



No.	NAME / 選手名
51	AKIYAMA Hisanori / 秋山 尚徳
52	KUDENISOV Sergei / セルゲイ・クデンツォフ
54	REID Robin / リード・ロビン
55	ULZII-ORSHIKH Jamsran / ウルジーオルシフ・ジャムスラン
56	ZONNEVELD Thijs / タイス・ゾンネフェルト

Team Manager: CARTER Michael / マイケル・カーター

チームコニカミノルタ TEAM KONICA MINOLTA (南アフリカ / RSA)



No.	NAME / 選手名
61	VAN HEERDEN Christoff / クリストフ・バンヒールデン
62	FROOME Chris / クリス・フルーム
63	VAN NIEKERK Dennis / デニス・バンニカーク
64	KANNEMEYER Tiaan / ティアーン・カネメイヤー
65	FOUCHE Herman / ハルマン・フーチ
66	THOMPSON Jay Robert / ジェイロバート・トンプソン

Team Manager: ROBERTSON John / ジョン・ロバートソン

チームシュパルカッセ TEAM SPARKASSE (ドイツ / GER)



No.	NAME / 選手名
71	HONSTEIN Timo / ティモ・ホNSTEIN
72	LADEMANN Christian / クリスチャン・ラデマン
73	LOEFFLER Stefan / ステファン・ラフラー
74	OWCZAREK Jonas / ヨナ・オーチャレック
75	SCHILD Rene / ルネ・シルト
76	SCHWEIZER Christoph / クリストフ・シュバイツァー

Team Manager: HAMANN Viktor / ビクトール・ハーマン

カザフスタンナショナルチーム KAZAKHSTAN NATIONAL TEAM (カザフスタン / KAZ)



No.	NAME / 選手名
81	DYACHENKO Alexandr / アレクサンドル・ディアチェンコ
82	DYMOVSKIY Alexandr / アレクサンドル・ディモフスキフ
83	IGLINSKIY Valentin / バレンティン・イグリスキー
84	GRUZDEV Dmitriy / ドミトリー・グルージェフ
85	MEDYANNIKOV Andrey / アンドレイ・メディニコフ
86	LYALKO Aleksey / アレクセイ・リャルコ

Team Manager: REKHERT Valentin / バレンティン・レヘルト

チームリスト (国内)

NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ NIPPO corporation-MEITAN HONPO-EquipeAsada



No.	NAME / 選手名
91	ARASHIRO Yukiya / 新城 幸也
92	FUKUSHIMA Koji / 福島 康司
93	FUKUSHIMA Shinichi / 福島 晋一
94	MIYAZAWA Takashi / 宮澤 崇史
95	SHIMIZU Miyataka / 清水 都貴
96	OKAZAKI Kazuya / 岡崎 和也
Team Manager:ASADA Akira / 浅田 顕	

愛三工業レーシングチーム AISAN Racing Team



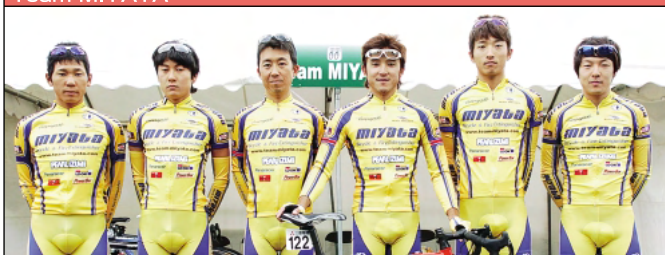
No.	NAME / 選手名
101	BEPPU Takumi / 別府 匠
102	AKIYAMA Hideya / 秋山 英也
103	NISHITANI Taiji / 西谷 泰治
104	AYABE Takeaki / 綾部 勇成
105	SUZUKI Kenichi / 鈴木 謙一
106	MORI Kazuhiro / 盛 一大
Team Manager:TANAKA Mitsuteru / 田中 光輝	

マトリックスパワータグ MATRIX POWERTAG



No.	NAME / 選手名
111	MIFUNE Masahiko / 三船 雅彦
112	HASHIKAWA Ken / 橋川 健
113	HIOKI Daisuke / 日置 大介
114	MUKAIGAWA Naoki / 向川 尚樹
115	SANO Tomoya / 佐野 友哉
116	TSUJI Yoshimitsu / 辻 善光
Team Manager:YASUHARA Masahiro / 安原 昌弘	

チームミヤタ Team MIYATA



No.	NAME / 選手名
121	KAKINUMA Akira / 柿沼 章
122	SUZUKI Shinri / 鈴木 真理
123	SUZUKI Yuzuru / 鈴木 譲
124	NAKAMURA Makoto / 中村 誠
125	MASUDA Nariyuki / 増田 成幸
126	FUKUDA Shimpei / 福田 真平
Team Manager:KURIMURA Osamu / 栗村 修	

チームブリヂストン・アンカー TEAM BRIDGESTONE ANCHOR



No.	NAME / 選手名
131	TASHIRO Yasutaka / 田代 恭崇
132	IJIMA Makoto / 飯島 誠
133	HATANAKA Yusuke / 畑中 勇介
134	MURAYAMA Norihide / 村山 規英
135	MITAKI Mitsunari / 三滝 光誠
136	FUKUHARA Masaru / 普久原 奨
Team Manager:FUJINO Tomokazu / 藤野 智一	

パールイズミ・スミタ・ラバネロ PEARLIZUMI SUMITA RAVANELLO



No.	NAME / 選手名
141	YONEYAMA Ikki / 米山 一輝
142	IINO Yoshinori / 飯野 嘉則
143	KAMATA Keisuke / 鎌田 圭介
144	AYERS Arthur / 恵阿珠 朝
145	ASANO Kazunari / 浅野 和成
146	HIRATSUKA Yoshimitsu / 平塚 古光
Team Manager:TAKAMURA Seiichi / 高村 精一	

なるしまフレンド NALSIMA FRENED



No.	NAME / 選手名
151	NITO Yasuhiro / 二戸 康寛
152	OBATA Kaoru / 小畑 郁
153	YOSHIDA Hideo / 吉田 秀夫
154	IWASHIMA Keita / 岩島 啓太
155	TOI Yasuyuki / 戸井 康之
156	ONISHI Keita / 大西 恵太
Team Manager:SUZUKI Seizou / 鈴木 誠三	

チームJBCF Team JBCF



No.	NAME / 選手名
161	MANABE Kazuyuki / 真鍋 和幸
162	KOJIMA Yosuke / 小嶋 洋介
163	KOMURO Masanari / 小室 雅成
164	MURAKAMI Jumpei / 村上 純平
165	OBA Shinya / 大庭 伸也
166	URUSHIZAWA Hitoshi / 漆澤 均
Team Manager:ICHIKAWA Masatoshi / 市川 雅敏	

第1戦 大阪ステージ競技結果

個人総合時間賞	宮澤 崇史	NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ
個人総合ポイント賞	宮澤 崇史	NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ

1st stage

OSAKA

第1ステージ[大阪]

May20 (Sun.) 140.8km

5月20日(日) 大阪ステージ
大阪府堺市:堺市泉北周回コース
12.8km×11周=140.8km

NIPPO・梅丹の宮澤と新城が ワンツーフィニッシュ

この日はスタート時こそ肌寒さを感じたものの、後半戦になるとときおり強い日差しが降り注ぐようになって気温も上昇。その中で出走した94選手は時速50km近いハイペースを維持しながらゴールを目指した。通常は中盤で少人数の逃げが発生する大阪ステージだが、今年のレースは後続集団の追撃が執拗で、なかなか大きな差をつけた逃げが決まらない。レースはそのまま終盤戦に突入した。

スプリンターを擁するイタリアの強豪チーム、アクアエサポネの全選手が集団の先頭に立ってハイペースでゴールを目指した。しかし残り距離が少なくなってNIPPOチームが先頭に立つと、宮澤が残り200mを切ったところで抜け出して、最後はガッツポーズで優勝した。2位もアシスト役である新城が入るなど、完璧な勝利を見せた。

宮澤は区間優勝とともに、個人総合成績で1位となり、グリーンジャージを獲得。さらにポイント賞でも1位となり、3つの賞を独占した。

「昨年から(新城)幸也とスプリントのフォーメーションを練習してきたが、ようやく形ができて初めて結果につながった。昨年も同じような展開でありながら自分に科せられた勝利を手中にできなかったのが、今日の勝利はとても満足している。今夜はこのジャージを着て寝ます」と宮澤。

宮澤自身はこのあとに苦手の富士山ステージなどがあるため、最後までグリーンジャージにこだわらないというが、「明日からも攻めの走りを心がけて、最終的にチームのだれかを総合優勝させたい」と語った。



ちよっと
いい話

スタート前に「ロードレース入門 豆知識」イベントがあり、シマノ営業部の江原政光さん(38)が司会をつとめた。江原さんは「選手との距離を縮めるためにやっている。自転車を知らない人も、もっともっと好きになってほしい」と話しながら、「ほくもこの大会を見て五輪に出た。中高生にもこの大会を見てもらって自転車選手になってほしい」とエールを送った。



◆大阪ステージ 上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	宮澤 崇史	NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	2時間59分27秒
2	新城 幸也	NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	2・59・27・
3	ザッカリ・デンプスター	サウスオーストラリアドットコム・A I S	2・59・27・
4	三船 雅彦	マトリックスパワータグ	2・59・27・
5	飯島 誠	チームブリヂストン・アンカー	2・59・27・

◆大阪ステージまでの個人総合上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	宮澤 崇史	NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	2時間59分17秒
2	新城 幸也	NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	2・59・21・
3	ザッカリ・デンプスター	サウスオーストラリアドットコム・A I S	2・59・21・
4	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム	2・59・21・
5	ハルマン・フーチ	チームコニカミノルタ	2・59・21・

第2戦 奈良ステージ競技結果

個人総合時間賞	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム
個人総合ポイント賞	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム
個人総合山岳賞	ワン・カンボー	ホンコンプロサイクリング

第2ステージ[奈良] 2nd stage NARA

May 21 (Mon.) 146.2km

5月21日(月) 奈良ステージ
奈良県奈良市・山添村:
東大寺大仏殿中門前→山添村布目ダム周回コース
25.0km (パレード) + (10.1km×12周) = 146.2km



イグリスキー優勝。個人総合もトップに躍り出る

この日は修学旅行の生徒たちなどでにぎやかな東大寺境内をスタート。布目ダムまでの18.6kmをパレード走行し、1周10.1kmを12周する周回コースに突入した。小刻みなアップダウンが連続する周回コースで福島晋一(35)が単独アタック。後続集団に差をつけてゴールを目指す。これに対して残り20kmで後続の大集団からアクアエサポーネのオレリアン・パスロン(23=フランス)、愛三工業の西谷泰治(26)、カザフスタンのアレクサンドル・ディアチェンコ(23)、黄、新城幸也(22)らが抜け出して福島に合流した。

しかし先頭集団からもアタックが応酬したことでペースが乱れ、残り1kmで大集団がすべての選手を吸収。最後は上り坂でのロングスパート合戦となり、スプリンターのイグリスキーが優勝した。イグリスキーはボーナスタイムも獲得して総合1位に。宮澤は5秒遅れの区間7位で、総合成績では3位となった。

「国際レースは2勝目。上り坂は苦手なので今後のステージでタイムを失うことになるだろうが、ポイント賞ジャージは最後まで守り抜きたい」とイグリスキー。2003年のMTBアジア選手権に來日したことがあり、2001年からナショナルチーム入り。次のステップアップのためには貴重な勝利だった。

「グリーンジャージを守れなかったのは残念だが、明日からはそれを奪回する走りを見せたい」と宮澤。

ちょっといい話

東大寺大仏殿中門前スタート前のセレモニーでは筒井寛昭・東大寺執事長が「東大寺スタートになって今年で8回目になります。自転車は、環境にやさしい乗り物です。みなさんのご活躍を祈念しております」とあいさつ。さらに一日警察署長のミス奈良・西田智美さんが、「交通ルールを守り、自転車の安全利用をお願いします」とアピールした。

◆奈良ステージ 上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム	3時間44分12秒
2	オレリアン・パスロン	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	3・44・12・
3	鈴木 真理	チームミヤタ	3・44・12・
4	アレクサンドロ・ドナーティ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	3・44・12・
5	フランチェスコ・ディパオロ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	3・44・12・

◆奈良ステージまでの個人総合上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム	6時間43分23秒
2	オレリアン・パスロン	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	6・43・33・
3	宮澤 崇史	NIPPONコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	6・43・34・
4	鈴木 真理	チームミヤタ	6・43・35・
5	アレクサンドロ・ドナーティ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	6・43・39・



筒井東大寺執事長



奈良県教育委員会
矢和多教育長



倍蔵奈良ステージ実行委員長に
表彰されるワン・カンボー



山添村教育委員会森中様より
表彰されるイギリスギン



TOU組織委員会小川会長より
表彰されるイギリスキー

第3戦 美濃ステージ競技結果

個人総合時間賞	オレリアン・パスロン	アクアエサポーネ・カフェモカンボ
個人総合ポイント賞	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム
個人総合山岳賞	鈴木 真理	チームミヤタ

3rd stage

MINO

May22 (Tue.) 164.7km

F・マシャレツリV。首位は僚友パスロン

この日のスタート地点は「うだつの上がる町並み」として知られる美濃市の旧今井家住宅前。沿道を埋め尽くした市民に見送られてパレード走行を開始した92選手は、周回コースに入って本格的な戦いを始めた。レースは序盤から積極的な走りを見せる第1集団と、それを追いかける第2集団に分かれてゴールを目指す。さらに周回を重ねることに集団は分裂を重ねていった。

そして残り50km地点でNIPPO・梅丹の岡崎和也(35)がアタック。岡崎は敢然とした走りでも独走を続け、ゴールを目指す。これに対して後続集団はカザフスタンやアクアエサポーネチームが先頭に立ってペースアップし、残り距離を確認しながらその差を詰めていった。岡崎は残り6kmほどで吸収され、最後はゴール勝負に。スプリントを制したF・マシャレツリが初優勝した。

個人総合成績ではタイム差なしの区間5位に入ったパスロンが首位に躍り出た。区間2位に入った新城幸也(22)が総合でトップから3秒遅れの4位に浮上した。

「50kmを逃げ切るつもりで走ったが、捕まっても後ろに残ったチームのスプリンターが勝負してくれると思った。いい仕事ができたとと思うのでくやしい気持ちはない」(岡崎)

「いい展開にはまったので決めきれなかったのはくやしい。落車で宮澤が遅れてしまったが、もし一緒にいてくれたら勝てたと思う」(新城)

ちょっといい話

美濃ステージの沿道には出場国・地域の国旗を持つ小学生がいた。上牧小学校の古屋成美先生(37)は、「クラスで旗を作って、どんな国かを勉強しました。難しかったのは青い国旗のカザフスタン。私もわからなくてみんなで調べました」。国旗が描かれた紙を棒にテープで留めた簡単な旗だったが、旗の裏に名前を書いて大切にしている生徒もいた。

5月22日(火) 美濃ステージ

岐阜県美濃市: 旧今井家住宅→横越→美濃和紙の里会館前周回コース

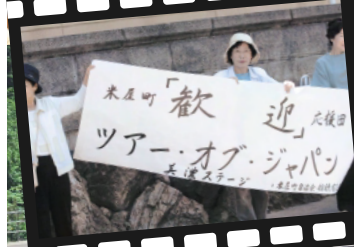
4.0km (パレード) + 11.6km + (21.3km×7周) = 164.7km

◆美濃ステージ 上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	フランチェスコ・マシャレツリ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	4時間2分59秒
2	新城 幸也	NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	4・2・59・
3	アレックスandro・ドナーティ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	4・2・59・
4	飯野 嘉則	パールイズミ・スミタ・ラバネロ	4・2・59・
5	オレリアン・パスロン	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	4・2・59・

◆美濃ステージまでの個人総合上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	オレリアン・パスロン	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	10時間46分32秒
2	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム	10・46・33・
3	アレックスandro・ドナーティ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	10・46・34・
4	新城 幸也	NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	10・46・35・
5	鈴木 真理	チームミヤタ	10・46・45・



美濃ステージを制したマチャレツリ(左)

第4戦 南信州ステージ競技結果

個人総合時間賞	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム
個人総合ポイント賞	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム
個人総合山岳賞	福島 康司	NIPPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ

4th stage MINAMI SHINSHU May23 (Wed.) 155.3km

イグリスキー2勝目。福島康司が山岳王に

飯田駅前をスタートした選手たちは周回コースに入ってすぐに動きを見せた。地元飯田市在住の福島兄弟の弟、福島康司がアタック。チームミヤタの柿沼章(35)、南アフリカのハルマン・フーチー(20=コニカミノルタ)もすぐに加わって後続集団に一気に4分以上の差をつけた。この先頭集団は残り50kmを切ったところで、逃げに消極的だったフーチーが脱落して福島と柿沼がトップに。しかし後続集団は追撃を本格化させて2人の吸収を図り、残り30kmで福島と柿沼に追いつき、レースを振り出しに戻した。

サバイバルレースとなった戦いは終盤に各チームの有力選手がアタックを開始。総合1位のパスロンもたまたま先頭集団から脱落した。残り14kmでアレクサンドル・ディアチェンコ(23=カザフスタン)と田代恭崇(32=ブリヂストン・アンカー)がアタック。しかし最後まで逃げ切ることはできず、小集団によるゴール勝負をイグリスキーが制した。

イグリスキーの3歳年上の兄マキシムは、現在強豪チームのアスタナに所属し、ツール・ド・フランスにも出場した経験を持つ。「来日前に兄から、ステージ2勝したらアスタナに入れてやると言われた。グリーンジャージを守ることは難しいと思うが、スプリンターとしてポイント賞ジャージは渡したくない」とイグリスキー。「沿道の人たちが自分の名前を呼んでくれたのが、力になった。もう引退かなと悩んだこともあったが、今日はいい走りのできたのでまだまだ頑張れる気がしてきた」(福島)



ちょっといい話

南信州ステージは沿道で選手に声援を送る住民の中には、バーベキューをしながら観戦する人たちや、山を歩いて登って来た人に「一杯やってけ」と声をかけてビールを手渡す人たちもいた。ここ飯田市に福島兄弟が拠点を置くこともあり、地元選手が出場することをきっかけにツアー・オブ・ジャパンに興味を持った住民も多い。

5月23日(水) 南信州ステージ
長野県飯田市:

飯田駅→下久堅周回コース→松尾総合運動場前

7.3km(パレード)+(12.2km×12周)+1.6km=155.3km

◆南信州ステージ 上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム	4時間17分9秒
2	ワン・カンポー	ホンコンプロサイクリング	4・17・9・
3	フランチェスコ・マシャレツリ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	4・17・9・
4	鈴木 真理	チームミヤタ	4・17・9・
5	福島 晋一	NIPPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	4・17・9・

◆南信州ステージまでの個人総合上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム	15時間03分32秒
2	アレクサンドロ・ドナーティ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	15・03・43・
3	新城 幸也	NIPPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	15・03・44・
4	フランチェスコ・マシャレツリ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	15・03・54・
5	鈴木 真理	チームミヤタ	15・03・54・



第5戦 富士山ステージ競技結果

個人総合時間賞	フランチェスコ・マシャレツリ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ
個人総合ポイント賞	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム
個人総合山岳賞	フランチェスコ・マシャレツリ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ

第5ステージ[富士山] 5th stage FUJISAN May25 (Fri.) 11.4km

F・マシャレツリ、驚異の走りで総合トップに

総合優勝争いに大きく関わる個人タイムトライアルは2年連続で雨中戦となった。この日はコース上に大粒の雨が降り注ぎ、それに加えて五合目のゴール地点は強風が吹き荒れるという最悪のコンディション。その中で、総合成績の下位選手から1分間隔で、最後の3人は2分間隔でスタートし、過酷な上り坂での単独走行に挑んだ。天候は有力選手が登場する後半になるほど荒れてきて、雨粒が大きくなるとともに、頂上から吹き下ろしてくる風に選手が飛ばされそうな状況になった。

最後から4番目に登場したマシャレツリは風雨が強くなった状況にもかかわらず、平均時速16.4km、区間2位に2分11秒差をつけるスピードで駆け上がり、スプリント勝負で競り勝った美濃ステージに続く2勝目を挙げた。

「悪天候だったのでウォーミングアップに時間をかけて臨んだ」というマシャレツリは、初めてこの大会での首位に立ったことで、チーム内で「総合優勝を目指すエース」というポジションも決定させた。それでも、「過去にステージレースの途中で首位に立ったこともあるが、最終日の残り20kmで落車して優勝を逃した経験がある。だからレースは東京のゴールまで続くと考えている」とコメントした。

前日までの首位バレンティン・イグリスキー(23=カザフスタンナショナルチーム)は2分24秒遅れの区間4位で、総合成績で2分03秒遅れの2位に陥落した。田代恭崇(32=プリチストン・アンカー)が日本勢の最高位となる7位。

5月25日(金) 富士山ステージ(個人タイムトライアル)
静岡県駿東郡小山町:
ふじあざみライン入口→富士山須走口5合目
11.4km(標高差1,200m登坂)

ちょっといい話

全ステージを観戦しているのが、愛知県の井上琢磨さん(29)、和美さん(30)ご夫妻。琢磨さんは「子供たちに自転車を教えたい。すそ野が広がっていかないと、自転車レースが盛り上がりません」という。和美さんも「(私のように)自転車に乗らない人もファンになってほしい。すっかり今では『ミーハー』してます」と語る。

◆富士山ステージ 上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	フランチェスコ・マシャレツリ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	41分38秒
2	アレクサンドル・ディアチェンコ	カザフスタンナショナルチーム	43分49秒
3	アンドレイ・メディアニコフ	カザフスタンナショナルチーム	43分50秒
4	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム	44分 3秒
5	アレクサンドロ・ドナーティ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	44分18秒

◆富士山ステージまでの個人総合上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	フランチェスコ・マシャレツリ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	15時間45分32秒
2	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム	15・47・35・
3	アレクサンドル・ディアチェンコ	カザフスタンナショナルチーム	15・47・56・
4	アンドレイ・メディアニコフ	カザフスタンナショナルチーム	15・47・57・
5	アレクサンドロ・ドナーティ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	15・48・01・



第6戦 伊豆ステージ競技結果

個人総合時間賞	フランチェスコ・マシャレツリ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ
個人総合ポイント賞	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム
個人総合山岳賞	アレクサンドル・ディアチェンコ	カザフスタンナショナルチーム

第6ステージ[伊豆] 6th stage IZU May26 (Sat.) 128.5km

5月26日(土) 伊豆ステージ

静岡県伊豆市:修善寺駅→日本サイクルスポーツセンター周回コース
8.5km (パレード) + (8.0km×15周) = 128.5km



フルーム優勝。F・マシャレツリが首位堅持

レースは修善寺駅前をスタート。日本サイクルスポーツセンターの周回コースに入って戦いが本格化した。序盤でNIPPO・梅丹の新城幸也(22)が単独アタックした。これにイタリアのアレッサンドロ・ドナーティ(28=アクアエサポーネ)とNIPPO・梅丹の福島康司(33)が反応し、新城に追従した。さらに野寺ら3選手がこれに追いつき、先頭集団は6人に。マシャレツリを含む大集団も追撃する構えを見せた。

そして終盤となった残り23km、先頭集団からフルームが単独アタック。新城もこれを単独で追う。フルームは快調にゴールまで飛ばして、後続に41秒差をつけてステージ優勝を果たした。序盤から果敢な走りを見せた新城は力尽きて後続集団に吸収された。マシャレツリはグリーンジャージを守って、明日の東京ステージに初の総合優勝に挑む。

「チームスポンサーの日本企業のためにも有意義な勝利だった。この大会は機材故障など不運なことも多かったが、今日は暑かったことが私にはよかった」とケニアのU23チャンピオンのフルーム。

「ジロ・デ・イタリアに出場している長兄のシモーネが昨日、体調を壊して大きく成績を落としたという連絡が入った。この日は一緒に来日している次兄のアンドレアが落車してしまった。とても気がかりなことが多かったが、リーダージャージを守れたのでまずまずの走りができた」(F・マシャレツリ)

ちょっといい話

この日は修善寺駅前をスタートして、その直後に修善寺工業高の校門前を通過。同校はスキル・シマノの野寺秀徳(31)とパールイズミの平塚吉光(18)の母校だったことから、選手団はこの2人を先行させ、凱旋パレードを演出する計らいを見せた。ツール・ド・フランスではときおり見かける光景だけに、日本でも自転車文化が根づいてきたことを感じさせるシーンだった。

◆伊豆ステージ 上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	クリス・フルーム	チームコニカミノルタ	3時間52分26秒
2	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム	3・53・7・
3	西谷 泰治	愛三工業レーシングチーム	3・53・7・
4	宮澤 崇史	NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	3・53・7・
5	アレクサンドロ・ドナーティ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	3・53・7・

◆伊豆ステージまでの個人総合上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	フランチェスコ・マシャレツリ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	19時間38分39秒
2	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム	19・40・36・
3	アレクサンドル・ディアチェンコ	カザフスタンナショナルチーム	19・41・03・
4	アンドレイ・メディアニコフ	カザフスタンナショナルチーム	19・41・04・
5	アレクサンドロ・ドナーティ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	19・41・08・



第7戦 東京ステージ競技結果

個人総合時間賞	フランチェスコ・マシャレツリ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ
個人総合ポイント賞	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム
個人総合山岳賞	アレクサンドル・ディアチェンコ	カザフスタンナショナルチーム

7th stage

TOKYO

May 27 (Sun.) 148.9km

第7ステージ [東京]

5月27日(日) 東京ステージ

東京都:千代田区目黒比谷シティ前→

品川区大井埠頭周回コース

15.9km+ (7.0km×19周) = 148.9km



新城幸也最終日を制す。総合Vはマシャレツリ

東京ステージは夏を思わせる陽気で、たくさんの自転車ファンが周回コースの沿道に詰めかけた。

この日のコースは平坦路で、少人数での逃げは決まりにくいという傾向がある。しかしわずかなチャンスをつかむために新城ら日本勢を中心とした12選手がアタック。これに対する後続集団は、グリーンジャージのF・マシャレツリを擁するアクアエサポーネチームが追撃し、致命的なタイム差をつけられないようにペースをコントロールした。

新城を含むトップ集団は最後まで逃げ切り、少人数のゴール勝負を新城が制して初優勝。後続の大集団のなかでゴールしたF・マシャレツリがそのまま今大会の覇者となった。ポイント賞はイグリスキー、山岳賞はカザフスタンナショナルチームのアレクサンドル・ディアチェンコ(23)、団体総合はカザフスタンナショナルチームが獲得した。

新城は大阪ステージでチームメートの宮澤崇史(29)をアシストしながらの区間2位。美濃ステージでもゴールスプリントで区間2位。この日はついにステージ優勝をものにした。

「総合優勝をねらって臨んだツアー・オブ・ジャパンだったが、各ステージも特徴あるコースが用意され、そこで区間勝利することの意義も高かった。初日と最終日で区間2勝できたが、総合成績を逃すなどの課題も多い。うれしさがあると同時に、大きな目標に向かってさらにレベルアップする必要性を感じた」(NIPPO・梅丹の浅田顕監督)

ちょっといい話

この日は大井埠頭の周回コースまでのパレード走行。スタート時に選手たちを先導したのは、国として法令の整備や21世紀の人にやさしい町作りなどを目的に結成された自転車活用推進議員連盟会長の谷垣禎一衆院議員、小杉隆衆院議員、鈴木馨祐衆院議員と、1996年に日本人プロとして初めてツール・ド・フランスに出場した今中大介さんの4人。みな自転車好きとあって笑顔で軽快なライディングを楽しんだ。

◆東京ステージ 上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	新城 幸也	NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	3時間8分24秒
2	マイルズ・オルマン	サウスオーストラリアドットコム・A I S	3・8・24・
3	橋川 健	マトリックスパワータグ	3・8・24・
4	ショーン・フィニング	サウスオーストラリアドットコム・A I S	3・8・27・
5	増田 成幸	チームミヤタ	3・8・27・

◆東京ステージまでの個人総合上位5人

順位	選手名	所属	タイム
1	フランチェスコ・マシャレツリ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	22時間47分16秒
2	バレンティン・イグリスキー	カザフスタンナショナルチーム	22・49・13・
3	アレクサンドル・ディアチェンコ	カザフスタンナショナルチーム	22・49・40・
4	アンドレイ・メディアニコフ	カザフスタンナショナルチーム	22・49・41・
5	アレクサンドロ・ドナーティ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	22・49・42・



スターターを務める
日本自転車振興会
下重会長



東京ステージ優勝を飾った新城(右)

個人総合時間全成績



TOJ組織委員会小川会長に祝福される
個人総合優勝マシヤレリ



栄光の各賞を受賞した選手たち



左から新城、ディアチェンコ、イギリスキー

◆個人総合時間順位

順位	選手名	所属	タイム	タイム差
1	フランチェスコ・マシヤレリ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	22時間47分16秒	
2	バレンティン・イギリスキー	カザフスタンナショナルチーム	22・49・13・	1・57・
3	アレクサンドル・ディアチェンコ	カザフスタンナショナルチーム	22・49・40・	2・24・
4	アンドレイ・メディアニコフ	カザフスタンナショナルチーム	22・49・41・	2・25・
5	アレクサンドロ・ドナーティ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	22・49・42・	2・26・
6	クリス・フルーム	チームコニカミノルタ	22・50・49・	3・33・
7	田代 恭崇	チームブリヂストン・アンカー	22・50・52・	3・36・
8	狩野 智也	スキル・シマノ	22・51・11・	3・55・
9	ティモ・ホNSTAYN	チームシュバルカッセ	22・51・30・	4・14・
10	アレクサンドル・ディモフスキフ	カザフスタン・ナショナルチーム	22・51・30・	4・14・
11	増田 成幸	チームミヤタ	22・51・50・	4・34・
12	別府 匠	愛三工業レーシングチーム	22・52・17・	5・01・
13	タイス・ゾンネフェルト	ディスカバリーチャンネル・マルコポーロチーム	22・52・27・	5・11・
14	新城 幸也	NIPPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	22・53・19・	6・03・
15	西谷 泰治	愛三工業レーシングチーム	22・53・50・	6・34・
16	野寺 秀徳	スキル・シマノ	22・53・54・	6・38・
17	飯野 嘉則	パールイズミ・スミタ・ラバネロ	22・56・37・	9・21・
18	ウィリアム・フォード	サウスオーストラリアドットコム・A I S	22・57・13・	9・57・
19	福島 晋一	NIPPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	22・57・44・	10・28・
20	フランチェスコ・ディバオロ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	22・58・10・	10・54・
21	黄 金宝	ホンコンプロサイクリング	22・59・43・	12・27・
22	ドミトリー・グルージェフ	カザフスタン・ナショナルチーム	23・2・10・	14・54・
23	チャン・チュンビン	ホンコンプロサイクリング	23・4・4・	16・48・
24	中村 誠	チームミヤタ	23・4・38・	17・22・
25	二戸 康寛	なるしまフレンド	23・7・23・	20・07・
26	アレクセイ・リャルコ	カザフスタン・ナショナルチーム	23・7・53・	20・37・
27	ティアン・カネメイヤー	チームコニカミノルタ	23・8・1・	20・45・
28	三滝 光誠	チームブリヂストン・アンカー	23・8・44・	21・28・
29	阿部 良之	スキル・シマノ	23・11・18・	24・02・
30	岡崎 和也	NIPPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	23・11・30・	24・14・
31	浅野 和成	パールイズミ・スミタ・ラバネロ	23・12・2・	24・46・
32	福島 康司	NIPPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	23・15・42・	28・26・
33	宮澤 崇司	NIPPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	23・16・13・	28・57・
34	畑中 勇介	チームブリヂストン・アンカー	23・17・3・	29・47・
35	デニス・パンニカーク	チームコニカミノルタ	23・17・48・	30・32・
36	村山 規英	チームブリヂストン・アンカー	23・18・1・	30・45・
37	橋川 健	マトリックス・パワータグ	23・19・16・	32・00・
38	鈴木 謙一	愛三工業レーシングチーム	23・20・46・	33・30・
39	ハルマン・フーチ	チームコニカミノルタ	23・21・16・	34・00・
40	盛 一大	愛三工業レーシングチーム	23・23・48・	36・32・
41	飯島 誠	チームブリヂストン・アンカー	23・25・50・	38・34・
42	清水 都貴	NIPPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	23・31・15・	43・59・
43	真鍋 和幸	チームJBCF	23・31・51・	44・35・
44	鈴木 真理	チームミヤタ	23・33・0・	45・44・
45	ルネ・シルト	チームシュバルカッセ	23・33・27・	46・11・
46	大庭 伸也	チームJBCF	23・37・43・	50・27・
47	日置 大介	マトリックス・パワータグ	23・38・42・	51・26・
48	綾部 勇成	愛三工業レーシングチーム	23・39・39・	52・23・
49	岩島 啓太	なるしまフレンド	23・39・40・	52・24・
50	オレリアン・パスロン	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	23・40・17・	53・01・
51	キャメロン・メイヤー	サウスオーストラリアドットコム・A I S	23・40・39・	53・23・
52	ヨナ・オーシャレック	チームシュバルカッセ	23・41・12・	53・56・
53	小室 雅成	チームJBCF	23・42・14・	54・58・
54	柿沼 章	チームミヤタ	23・43・21・	56・05・
55	鈴木 謙	チームミヤタ	23・43・48・	56・32・
56	ジェイロバート・トンブソン	チームコニカミノルタ	23・44・3・	56・47・
57	クリストフ・パンヒールデン	チームコニカミノルタ	23・46・20・	59・04・
58	福田 真平	チームミヤタ	23・46・41・	59・25・
59	小嶋 洋介	チームJBCF	23・47・5・	59・49・
60	大内 薫	スキル・シマノ	23・48・52・	1時間 1・36・
61	クオック・ホーティン	ホンコンプロサイクリング	23・49・19・	1・2・03・
62	小畑 郁	なるしまフレンド	23・55・43・	1・8・27・
63	米山 一輝	パールイズミ・スミタ・ラバネロ	23・55・52・	1・8・36・
64	向川 尚樹	マトリックス・パワータグ	23・59・39・	1・12・23・
65	三船 雅彦	マトリックス・パワータグ	24・0・36・	1・13・20・
66	ショーン・フィニング	サウスオーストラリアドットコム・A I S	24・4・42・	1・17・26・
67	アンドレア・ロッシ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	24・8・49・	1・21・33・
68	鎌田 圭介	パールイズミ・スミタ・ラバネロ	24・14・32・	1・27・16・
69	シュウ・ガン	ホンコンプロサイクリング	24・20・28・	1・33・12・
70	村上 純平	チームJBCF	24・22・17・	1・35・01・
71	辻 善光	マトリックス・パワータグ	24・25・15・	1・37・59・
72	平塚 吉光	パールイズミ・スミタ・ラバネロ	24・25・41・	1・38・25・
73	普久原 奨	チームブリヂストン・アンカー	24・32・1・	1・44・45・
74	秋山 英也	愛三工業レーシングチーム	24・32・58・	1・45・42・
75	クリスチャン・ラデマン	チームシュバルカッセ	24・41・19・	1・54・03・
76	ザッカーリー・デンプスター	サウスオーストラリアドットコム・A I S	24・50・30・	2・03・14・
77	恵阿珠 朝	パールイズミ・スミタ・ラバネロ	24・53・20・	2・06・04・
78	漆沢 均	チームJBCF	24・56・40・	2・09・24・
79	辻 貴光	スキル・シマノ	24・59・24・	2・12・08・
80	佐野 友哉	マトリックス・パワータグ	25・5・18・	2・18・02・
81	マイルズ・オルマン	サウスオーストラリアドットコム・A I S	25・26・44・	2・39・28・
82	山本 雅道	スキル・シマノ	25・28・43・	2・41・27・

個人総合ポイント・個人総合山岳賞・団体総合時間賞

◆個人総合ポイント

順位	選手名	所属	大阪	奈良	美濃	南信州	富士山	伊豆	総合ポイント
1	バレンティン・イギリスキー	カザフスタンナショナルチーム	14	15	5	15	12		61
2	新城 幸也	NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	12	2	12	5		20	51
3	フランチェスコ・マシャレツリ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ			15	10	4		29
4	アレックス・ドナーティ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ		8	10		6	5	29
5	宮澤 崇史	NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	15	4			8		27
6	ワン・カンポー	ホンコンプロサイクリング	5	5		12			22
7	オレリアン・パスロン	アクアエサポーネ・カフェモカンボ		12	6			3	21
8	鈴木 真理	チームミヤタ		10		8			18
9	飯島 誠	チームブリヂストン・アンカー	6					11	17
10	ザッカリ・デンプスター	サウスオーストラリアドットコム・AIS	13		4				17
11	クリス・フルーム	チームコニカミノルタ					15		15
12	西谷 泰治	愛三工業レーシングチーム			2		10	1	13
13	飯野 嘉則	パールイズミ・スミタ・ラバネロ		3	8	1			12
14	マイルズ・オルマン	サウスオーストラリアドットコム・AIS						12	12
15	ハルマン・フーチ	チームコニカミノルタ	10						10



東京ステージを制した新城



個人総合ポイント賞のイギリスキー

◆個人総合山岳賞

順位	選手名	所属	奈良	美濃	南信州	富士山	伊豆	総合ポイント
1	アレックス・ディアチェンコ	カザフスタンナショナルチーム				12	10	22
2	アンドレイ・メディアニコフ	カザフスタンナショナルチーム		2		10	7	19
3	アレックス・ドナーティ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	2			6	10	18
4	フランチェスコ・マシャレツリ	アクアエサポーネ・カフェモカンボ				15		15
5	福島 康司	NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ			12			12
6	田代 恭崇	チームブリヂストン・アンカー	8			4		12
7	鈴木 真理	チームミヤタ	2	10				12
8	柿沼 章	チームミヤタ	3		9			12
9	ワン・カンポー	ホンコンプロサイクリング	8					8
10	バレンティン・イギリスキー	カザフスタンナショナルチーム				8		8
11	ハルマン・フーチ	チームコニカミノルタ			7			7
12	福島 晋一	NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	5					5
13	岡崎 和也	NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ		5				5
14	普久原 奨	チームブリヂストン・アンカー		5				5
15	クリス・フルーム	チームコニカミノルタ				5		5



個人総合山岳賞のディアチェンコ



団体総合時間賞の
カザフスタンナショナルチーム

◆団体総合時間賞

順位	所属	大阪	奈良	美濃	南信州	富士山	伊豆	東京	総合時間
1	カザフスタンナショナルチーム	8時間58分21秒	11時間12分54秒	12時間09分30秒	12時間51分27秒	2時間11分42秒	11時間39分21秒	9時間25分51秒	68時間29分06秒
2	アクアエサポーネ・カフェモカンボ	8・58・21	11・12・36	12・08・57	12・51・27	2・11・41	11・44・55	9・25・51	68・33・48
3	NIPPOコーポレーション・梅丹本舗・エキップアサダ	8・58・21	11・12・59	12・09・19	12・51・27	2・22・47	11・46・13	9・25・38	68・46・44
4	愛三工業レーシングチーム	8・58・21	11・16・41	12・10・21	12・55・28	2・24・32	11・43・44	9・25・58	68・55・05
5	スキル・シマノ	8・58・21	11・13・17	12・09・30	12・52・51	2・21・00	11・55・25	9・25・51	68・56・15
6	チームコニカミノルタ	8・58・21	11・14・59	12・09・30	13・03・25	2・15・43	11・51・54	9・25・51	68・59・43
7	チームブリヂストン・アンカー	8・58・21	11・13・27	12・10・12	13・07・22	2・20・24	11・46・44	9・25・41	69・02・11
8	チームミヤタ	8・58・21	11・13・18	12・09・30	13・01・09	2・24・09	12・15・34	9・25・35	69・27・36
9	パールイズミ・スミタ・ラバネロ	8・58・21	11・15・32	12・10・27	13・10・51	2・25・08	12・20・47	9・25・51	69・46・57
10	ホンコンプロサイクリング	8・58・21	11・13・23	12・09・30	13・06・33	2・32・21	12・25・34	9・25・51	69・51・33
11	チームシュバルカッセ	8・58・21	11・14・40	12・09・30	13・03・09	2・23・03	12・50・59	9・26・09	70・05・51
12	サウスオーストラリアドットコム・AIS	8・58・21	11・30・52	12・10・22	13・03・59	2・19・50	12・56・17	9・25・28	70・25・09
13	マトリックスパワータグ	8・58・21	11・14・41	12・10・38	13・22・44	2・28・12	12・56・27	9・25・34	70・36・37
14	なるしまフレンド	8・58・21	11・21・52	12・10・12	13・14・10	2・32・22	12・59・22	9・25・51	70・42・10
15	チームJBCF	8・58・21	11・13・39	12・09・56	13・05・07	2・28・07	13・26・48	9・25・51	70・47・49
16	ディスカバリーチャンネル・マルコポーロチーム	8・58・21	11・14・31	12・10・54	—	—	—	—	



● ポスター
大会関係各社、スポーツ店、自転車店等に配布、提出



● チラシ
大会関係各社、スポーツ店、自転車店等に配布、提出



● プログラム
大会関係各社、スポーツ店、自転車店等に配布、提出
各大会会場にて一般観客へ無料配布



● 雑誌広告
CYCLE SPORTS 5月号
BYCYCLE CLUB 5月号
New Cycling 5月号



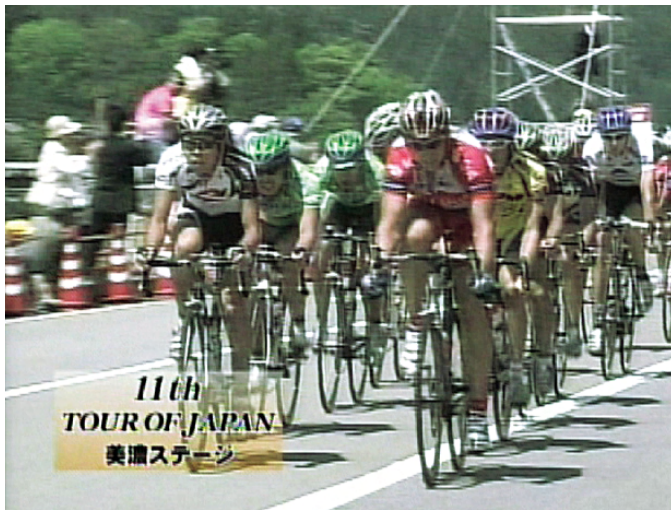
● TOJニュース
大会期間中にプレス・関係者等に配布



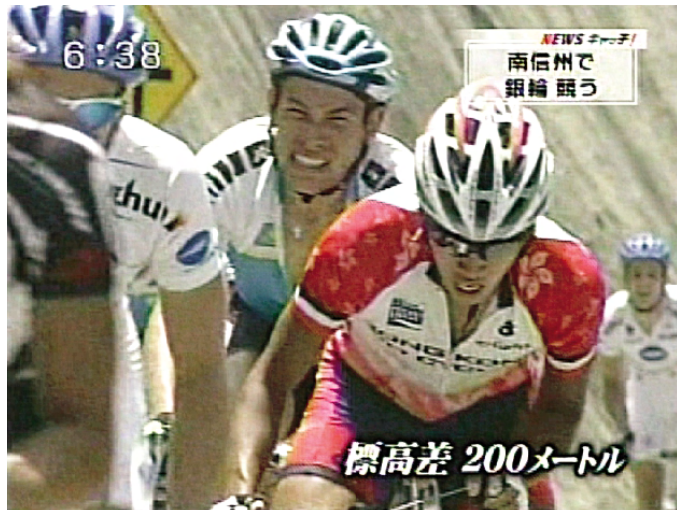
●NHK大阪「ニュース」 5月20日



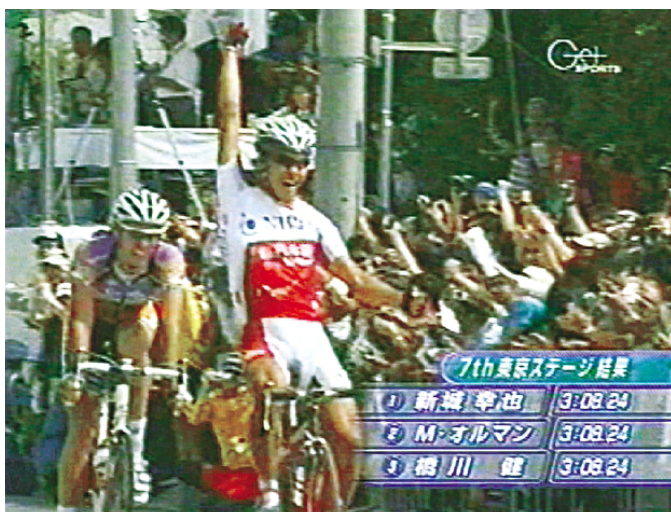
●奈良テレビ放送「TVN News」 5月21日



●岐阜テレビ「第11回ツアー・オブ・ジャパン」 5月26日



●信越放送「SBCニュースキャッチ」 5月23日



●テレビ朝日「Get-Sports」 5月27日

	放映日	番組名	放送時間	放送波(地域)
NHK関係	1 5月20日(日)	ニュース	午後6:45~7:00	総合(ローカル, NHK大阪局)
	2 5月20日(日)	サンデースポーツ	午後9:50~10:49	総合全国放送
	3 5月21日(月)	ならナビ	午後6:10~7:00	総合(ローカル, NHK奈良局)
	4 5月22日(火)	ほっとイブニング	午後6:10~7:00	総合(ローカル, NHK名古屋局)
	5 5月22日(火)	ほっとイブニング岐阜	午後6:30~7:00	総合(ローカル, NHK岐阜局)
	6 5月23日(水)	ニュース	午後0:10~0:20	総合(ローカル, NHK長野局)
	7 5月23日(水)	イブニング信州	午後6:10~7:00	総合(ローカル, NHK長野局)
	8 5月25日(金)	たっぷり静岡	午後6:10~7:00	総合(ローカル, NHK静岡局)
	9 5月27日(日)	サンデースポーツ	午後9:50~10:49	総合全国放送
	10 6月19日(火)	2007自転車ツアー・オブ・ジャパン	深夜1:10~3:00	NHK衛星第1チャンネル全国放送
テレビ朝日関係	1 5月20日(日)	Get-Sports	深夜0:15~2:10	テレビ朝日
	2 5月23日(水)	abnステーション	午後6:17~6:55	長野朝日放送
	3 5月25日(金)	とびっきり!しずおか	午後4:55~7:00	静岡朝日テレビ
	4 5月26日(土)	ANNニュース&スポーツ	深夜0:00~0:30	テレビ朝日
	5 5月27日(日)	Get-Sports	深夜0:15~2:10	テレビ朝日
	6 6月 2日(土)	ツアー・オブ・ジャパン	深夜3:10~4:05	テレビ朝日
	7 6月 3日(日)	ツアー・オブ・ジャパン	午後2:00~2:55	長野朝日放送
	8 6月 6日(水)	ツアー・オブ・ジャパン	深夜1:59~2:54	朝日放送
	9 6月 9日(土)	ツアー・オブ・ジャパン	深夜1:00~1:55	名古屋テレビ
	10 6月10日(日)	ツアー・オブ・ジャパン	深夜1:10~2:05	静岡朝日テレビ
その他民放	1 5月21日(月)	TVN News	午後4:54~5:10	奈良テレビ
	2 5月21日(月)	News Upなら	午後5:50~6:20	奈良テレビ
	3 5月21日(月)	県政フラッシュ	午後9:55~10:00	奈良テレビ
	4 5月21日(月)	NEWSライン	午後10:30~10:50	奈良テレビ
	5 5月23日(水)	SBCニュースキャッチ	午後4:54~5:50	信越放送
	6 5月23日(水)	ツアー・オブ・ジャパン生中継	午前8:45~午後1:40	飯田ケーブルテレビ
	7 5月24日(木)	ニュース713	午後6:30~6:50	飯田ケーブルテレビ
	8 5月26日(土)	第11回ツアー・オブ・ジャパン	午後8:00~8:53	岐阜テレビ

16チームの横顔

第11回 ツアー オフ ジャパン 20日開幕

緑風の下 銀輪駆ける

美濃ステージ加わる

高速からの駆け引き注目

22歳新鋭に期待

「台風の目」エキップアサダ

11th TOUR OF JAPAN
2007.5.20 (Sun) ~ 27 (Sun)
7ステージ 895.8kmのドラマ

TOUR OF JAPAN ツアー オフ ジャパンとは

各国のトップレーサーが集結
日本最高峰のロードレース「TOJ」

TOJの歴史へ 敬意を込めて

協賛企業応援告知

朝日新聞 全国版5段協賛社紹介
朝刊5段 5月1日 (火)
朝日新聞 全国版10段編集下協賛社紹介
朝刊15段 5月16日 (水)

TEL 03-3586-6230 <http://www.toj.co.jp/>

11th TOUR OF JAPAN
2007.5.20 (Sun) ~ 27 (Sun)
7ステージ 895.8kmのドラマ

TOUR OF JAPAN ツアー オフ ジャパンとは

各国のトップレーサーが集結
日本最高峰のロードレース「TOJ」

TOJの歴史へ 敬意を込めて

協賛企業応援告知

朝日新聞 大阪本社版
夕刊10段 5月19日 (土)

TEL 03-3586-6230 <http://www.toj.co.jp/>

● 協賛企業応援告知

朝日新聞 全国版5段協賛社紹介
朝刊5段 5月1日 (火)
朝日新聞 全国版10段編集下協賛社紹介
朝刊15段 5月16日 (水)

11th TOUR OF JAPAN
2007.5.20 (Sun) ~ 27 (Sun)
7ステージ 895.8kmのドラマ

TOUR OF JAPAN ツアー オフ ジャパンとは

各国のトップレーサーが集結
日本最高峰のロードレース「TOJ」

TOJの歴史へ 敬意を込めて

協賛企業応援告知

朝日新聞 名古屋本社版
朝刊10段 5月21日 (月)

TEL 03-3586-6230 <http://www.toj.co.jp/>

● 大会告知

朝日新聞 名古屋本社版
朝刊10段 5月21日 (月)

11th TOUR OF JAPAN
2007.5.20 (Sun) ~ 27 (Sun)
7ステージ 895.8kmのドラマ

TOUR OF JAPAN ツアー オフ ジャパンとは

各国のトップレーサーが集結
日本最高峰のロードレース「TOJ」

TOJの歴史へ 敬意を込めて

協賛企業応援告知

朝日新聞 東京本社版
朝刊10段 5月24日 (木)

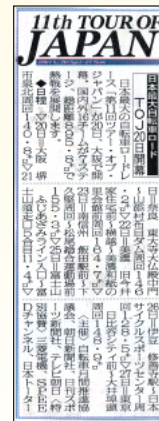
TEL 03-3586-6230 <http://www.toj.co.jp/>

● 大会告知

朝日新聞 東京本社版
朝刊10段 5月24日 (木)



● 大会告知
日刊スポーツ新聞 大阪本社版
10段 5月18日(金)



● 大会告知
日刊スポーツ新聞 東京本社版1面社告
約3段変型 5月17日(木)



● 大会告知（全面広告）
日刊スポーツ新聞 東京本社版
15段4面カラー 5月11日(金)



● 大会告知
日刊スポーツ新聞 名古屋版
15段 5月16日(水)



● 大会告知
日刊スポーツ新聞 東京本社版
10段 5月6日(日)



● 大会告知
日刊スポーツ新聞 東京本社版
10段変型 5月20日(日)



● 朝日新聞(大阪) 5月21日(月)



● 朝日新聞 5月22日(火)



● 岐阜新聞 5月21日(月)



● 朝日新聞(大阪) 5月22日(火)



● 日刊スポーツ新聞(大阪) 5月22日(火)



● 日刊スポーツ新聞 5月21日(月)



● 奈良日日新聞 5月22日(火)



● 奈良新聞 5月22日(火)



● 朝日新聞 5月22日(火)夕刊



● 朝日新聞 5月23日(水)



● 朝日新聞 5月23日(水)



● 日刊スポーツ新聞(名古屋) 5月23日(水)



● 岐阜新聞 5月22日(火)夕刊



● 岐阜新聞 5月23日(水)



● 朝日新聞 5月24日(木)



● 信濃毎日新聞 5月24日(木)



● 日刊スポーツ新聞 5月24日(木)



● 南信州新聞 5月25日(金)



● 朝日新聞 5月26日(土)



● 日刊スポーツ新聞(静岡) 5月26日(土)



● 日刊スポーツ新聞 5月26日(土)



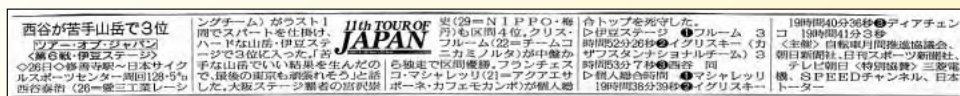
● 日刊スポーツ新聞(静岡) 5月27日(日)



● 朝日新聞(静岡) 5月27日(日)



● 静岡新聞 5月29日(火)



● 日刊スポーツ新聞 5月27日(日)

新城ステージ初勝利

個人総合Vはマシアレリ

「夢の舞台」で初勝利を挙げた新城は、この勝利で、個人総合優勝の座を確立した。マシアレリは、この勝利で、個人総合優勝の座を確立した。

積極性貫き、終盤大逆転

新城は、この勝利で、個人総合優勝の座を確立した。マシアレリは、この勝利で、個人総合優勝の座を確立した。

● 朝日新聞 5月28日(月)

11th TOUR OF JAPAN

新城、悲願初V

新城は、この勝利で、個人総合優勝の座を確立した。マシアレリは、この勝利で、個人総合優勝の座を確立した。

● 日刊スポーツ新聞 5月28日(月)

新城、東京ステージ初勝利

個人総合優勝はマシアレリ

新城は、この勝利で、個人総合優勝の座を確立した。マシアレリは、この勝利で、個人総合優勝の座を確立した。

● 信濃毎日新聞 5月28日(月)

新城、東京ステージ初勝利

個人総合優勝はマシアレリ

新城は、この勝利で、個人総合優勝の座を確立した。マシアレリは、この勝利で、個人総合優勝の座を確立した。

● 日刊スポーツ新聞 6月10日(日)

新城、東京で華

第7S優勝 チーム3位

スプリント制し風格

新城は、この勝利で、個人総合優勝の座を確立した。マシアレリは、この勝利で、個人総合優勝の座を確立した。

● 沖縄タイムス 5月28日(月)

新城、東京で華

第7S優勝 チーム3位

新城は、この勝利で、個人総合優勝の座を確立した。マシアレリは、この勝利で、個人総合優勝の座を確立した。

● 報知新聞 5月28日(月)

最終ステージで優勝

市出身の新城幸也選手が快挙

新城は、この勝利で、個人総合優勝の座を確立した。マシアレリは、この勝利で、個人総合優勝の座を確立した。

● 八重山毎日新聞 5月29日(火)

大会セレモニー



大阪ステージでの堺市主催の前夜祭



美濃ステージスタート前セレモニー



奈良ステージ
一日警察署長



KEIRIN PRコーナー



奈良ステージメカニックPIT見学会



南信州ステージ歓迎レセプション



東京ステージスタート地点での自転車活用推進議員連盟のアピール



ツアー・オブ・ジャパン美濃ステージ
～ Welcome Party



ルールを守ろう! 地球を守ろう! 楽しく走ろう!
自転車活用推進議員連盟



南信州ステージのご協賛企業各社



オーロラビジョンによるCM放送



表彰式用ステージカーでのご協賛社バナー表示



東京ステージゴール地点
「みなとが丘埠頭公園」での物販テント



大会本部でのご協賛社バナー掲示



ステージカー両脇のご協賛バナー



11th TOUR OF JAPAN

2007.5/20 (Sun)~27 (Sun)

ツアー・オブ・ジャパン組織委員会
(事務局：財団法人 日本自転車普及協会)

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番3号
TEL 03 (3586) 6230
FAX 03 (3586) 9782

TOJオフィシャルホームページ
<http://www.toj.co.jp>